災害に備えましょう

令和元年台風15号の被害

これからの季節は台風や集中豪雨などにより、災害が発生する可能性が高まります。災害による被害を防止するためにも日頃の備えが重要になります。

台風(風水害)に備えて

雨や風が強くなる前に家の外の備えを行う

・窓や雨戸はしっかりと鍵をかけ、必要に応じて補強しましょう。

・側溝や排水口は掃除して水はけを良くしておきましょう。

・風で飛ばされそうな物は飛ばないように固定したり、屋内へ格納しましょう。

家の中の備えを行う

・懐中電灯、携帯用ラジオ（乾電池式）、救急用品など非常用具の確認をしましょう。

・窓ガラスに飛散防止フィルムやテープなどを貼ったり、カーテンやブラインドを下ろすなど室内からの安全対策をしましょう。

・断水に備えて飲料水を確保したり、浴槽に水を張って生活用水を確保するなど水の確保をしましょう。

・乾パンやクラッカー、レトルト食品、缶詰など非常用食品を準備しましょう。

避難場所の確認を行う

・学校や公民館など、避難場所として指定されている場所への避難経路を確認しましょう。

・避難するときは、持ち物を最小限にして、両手が使えるようにしましょう。

気象庁が発表する警報や注意報などの情報収集を行う

・台風や雨などにより重大な被害が発生する恐れがあるときは、警報や注意報が発表されます。テレビやホームページから最新の情報を入手しましょう。

地震に備えて

慌てず行動できるように家族と日頃から話し合う

・地震が発生したとき家族が慌てず行動できるように、いざというときに備えて次の5点を日頃から家族と話し合っておきましょう。

①家の中での安全な場所の確認
②避難路、避難場所の確認
③避難するとき、誰が何を持つのかの役割分担
④家族がバラバラに離れたときの連絡方法
⑤災害時の必需品の備え

家具などの転倒防止対策など安全を確保しておく

・家具などの転倒、落下、移動防止対策をしておきましょう。
・けがの防止対策をしましょう。
・家屋や塀の強度を確認しておきましょう。

非常用品の備えを万全にしておく

・地震による災害発生後は、道路の寸断などにより救助や支援活動が満足にできないため、緊急物資の輸送が困難になります。このため、救助や支援が受けられるまでの食料や飲料水は、各家庭で蓄えておきましょう。

また、避難場所への移動や避難場所での生活に必要なもの、けがの応急手当をするための救急薬品などの準備もしておきましょう。

シェイクアウト訓練実施

シェイクアウト訓練は、参加者が指定された日時に、それぞれの場所で地震から身を守るための３つの安全行動
①「姿勢を低く」　②「体・頭の保護」
③「揺れが収まるまでじっとする」
を１分間行う訓練です。

実施日　９月１日㈭
時間　午前10時開始
訓練場所　それぞれの場所

※参加人数を把握するため、事前登録にご協力ください。（詳細は町ホームページをご確認ください）
※訓練当日に実施できない場合は防災週間内で実施するなど、ご都合が良い日時に実施してください。
※移動時は安全管理のため訓練を行わないでください。

▲身を守るための３つの安全行動

ハザードマップの活用

ハザードマップとは

台風や大雨、地震など各種災害によって被害が予想される箇所や避難所の位置などを地図に示したものです。このハザードマップを使用し、普段から災害リスクを認識した上で、自分が知っておくべき「危険箇所」「指定避難所・指定緊急避難場所」「避難経路」などを確認しましょう。

使い方

①自宅の位置を確認する
②浸水や土砂災害などの危険な場所を確認する
③避難する場所を確認する
④安全な避難経路を考える
⑤災害が発生したときの対応の仕方を話し合う
⑥自分たちの目で避難経路を確認する
⑦非常時持ち出し品を準備しておく

▲芝山町総合防災ハザードマップ

避難所について

非常用電源設備を設置しました

芝山町の指定避難所となっている福祉センター「やすらぎの里」に、非常用電源設備が新たに設置されました。

令和元年の台風などにより、あらためて重要な避難拠点であることが認識されました。入浴設備があるなど避難所として多くの機能を備えますが、非常用の電源設備は存在せず、停電発生時の対応に遅れを生じる状態にありました。

そのため、非常用電源設備を設置し、電力が断たれた時も避難所としての機能を確保することで、町民の方がより安心して避難を行える場所となりました。

▲新設された非常用電源設備